



みたか体協だより

発行 三鷹市体育協会

会長 清水 紘子

編集 広報部

2007年11月 復刊 第7号

〒181-0014 東京都三鷹市野崎1-1-1

TEL・FAX 0422(43)2500

http://www.mitaka-taikyo.com/
e-mail:qqrt38y9@fancy.ocn.ne.jp

会長挨拶



三鷹市体育協会会長
清水 紘子

新年明けましておめでとう御座います。会員の皆さま方にはめでたく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、様々な競技大会やスポーツ行事にご活躍、ご協力戴きまして有り難うございました。厚く御礼申し上げます。

みたか新時代の 体育協会をめざして



三鷹市長
清原 慶子

明けましておめでとうでございます。三鷹市体育協会の皆様には、ご健勝のうちに新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。改めて、日頃のご活躍に深く感謝申し上げます。

さて、2007年5月、体

ます。とくに昨年は当協会の創立50周年、皆さま方のご尽力のお陰で滞りなく記念の諸行事を執り行うことが出来ました。重ねて御礼申し上げます。

さて、平成20年は、当協会にとりまして51年目、激動の半世紀を終えて新たな第一歩目とも申すべき年で御座います。行く手を見ますと恒例行事の外に、三鷹市が属する第四ブロックの当番で今年行われる東京都町村総合体育大

育協会は設立50周年を迎えられ、盛大かつ華やかに記念式典が行われました。その折には、半世紀に及ぶ体育協会の活動に感謝して、市長から「特別感謝状」を贈らせていただきました。また、8月の市民体育祭スポーツ大会開会式では、これまでに「連盟設立50周年」を迎えた10の連盟・協会に対して、長年にわたる活動に感謝して「特別感謝状」を贈らせていただきました。

設立50周年を節目に、今年は、加盟団体の皆様

会、平成25年の「多摩国体」、また、当協会の法人化、かねて市にお願いしているスポーツ施設の充実等の問題が御座います。

いずれに致しましても皆さま方のご協力、ご活躍をお願いしなければならぬ大きな問題ばかりで御座います。会員の皆さま方、どうか、この一年もお元気にスポーツを楽しまれ、また、当協会の活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

ツ精神の涵養と技術向上をさらに進めるとともに次世代を担う指導者の育成を図りつつ、団塊の世代を代表とする中高年齢層のスポーツとの出会いを支援し、健康長寿のまちづくりを推進する取組みに、ご活躍の幅を広げていただければ幸いです。

今年も清水紘子会長を中心に、加盟34団体が「夢のある21世紀」を切り拓く「みたか新時代の体育協会」の実現をめざして、ますますご活躍されますことを心から願っています。

君こそ主役だ！ 2013 東京国体

TOKYO NATIONAL SPORTS FESTIVAL 2013

多摩島しょ地区中心に開催

評議員会で実績と
計画承認議決

平成十九年四月二十六日に開催された評議員会において平成十八年度決算と事業報告及び平成十九年度予算と事業計画が審議され承認議決されました。主な事項については次のとおりです。決算と予算については別表のとおりです。

今年度から議長と書記は加盟順の輪番制となりました。今年度は議長が野球連盟、書記は卓球連盟とバレーボール連盟でした。平成十九年度事業計画については、実績とほぼ同項目ですので省きました。

平成十八年度事業報告

- 1 市民体育、スポーツに関する事業
- ア 第五六回市民体育祭スポーツ大会の実施（二九種目、二九団体）
- イ 第一五回市民駅伝大会の実施（一六三チーム応募、一五九チーム参加）
- ウ 種目別少年スポーツ大会の実施（七種目）

体育協会の一般会計決算および予算の概要

収入の部		18年度決算額			19年度予算額
項	目 節	予算現額	収入済額	増△減	予算額
前年度繰越金		3,606,771	3,606,711	0	4,411,550
会費		853,000	831,500	△21,500	863,000
	普通会費	688,000	675,500	△12,500	692,000
	年会費	0			160,000
	賛助会費	155,000	156,000	1,000	1,000
	入会金	10,000	0	△10,000	10,000
補助金		16,449,000	16,450,000	1,000	16,449,000
	市費補助金	16,449,000	16,450,000	1,000	16,250,000
	都体協補助金	199,000	200,000	1,000	200,000
事業収益金		2,087,000	2,233,329	146,329	2,087,000
受託事業収入		1,634,000	2,510,300	876,300	3,510,000
寄付金		10,000	10,000	0	10,000
雑収入		10,229	10,229	0	9,450
収入合計		24,650,000	25,669,271	1,019,271	27,841,000
支出の部		予算現額	支出済額	残 額	予算額
運営費		142,377	142,377	0	141,000
事業費		10,726,000	8,757,120	1,968,880	11,226,000
	市内競技費補助	990,000	990,000	0	990,000
	派遣事業費補助	2,280,000	1,801,308	478,692	2,280,000
	事業費補助	7,456,000	5,965,814	1,490,186	7,956,000
	市民体育祭スポーツ費	4,356,000	3,828,906	527,094	4,356,000
	種目別少年スポーツ費	1,352,000	1,181,807	170,193	1,352,000
	歩行力測定会費	121,000	76,409	44,591	121,000
	指導者研修費	147,000	58,620	88,380	147,000
	体育交流費	365,000	160,000	205,000	365,000
	市民体力測定費	70,000	14,700	55,300	70,000
	交流費	318,000	101,139	216,861	318,000
	表彰費	40,000	28,417	11,583	40,000
	スポーツ指導員講習会費	192,000	89,826	102,174	192,000
	スポーツ初心者講習会費	400,000	380,000	20,000	400,000
	広報紙発行費	95,000	95,000	0	95,000
	50周年記念事業費				500,000
労務費		8,233,000	8,142,860	90,140	8,246,000
事務費		1,109,000	622,544	486,456	1,109,000
収益事業費		40,000	27,600	12,400	40,000
受託事業費		2,293,460	2,293,460	0	3,349,000
積立金		900,000	900,000	0	625,000
交際費		100,000	75,000	25,000	100,000
分担金		220,000	219,735	265	220,000
返還金		77,025	77,025	0	91,000
予備費		809,138	0	809,138	2,803,000
支出合計		24,650,000	25,669,271	△1,019,271	27,841,000
次年度繰越金			4,411,550		

- 2 派遣に関する業務
 - エ ジュニア育成事業の実施（五種目、六事業）
 - オ 市民スポーツ、フェスティバルへの参加、市民歩行力測定会（第六九、七十回）、及び市民体力測定会の実施
 - ア 第五九回都民体育大会（春季）、第六十回都民体育大会（夏、冬季）への選手派遣
 - イ 都民生涯スポーツ大会及びスポーツレクふれあい大会への選手派遣
 - ウ 第四十回東京都市町村親睦ボウリング大会の実施
 - ア 矢吹町との体育交流の実施（ゲートボール、山岳）
 - イ 加盟団体相互の新春懇親会の実施
 - ウ 親睦ボウリング大会の実施
 - ア 三鷹市スポーツ指導員要請講習会、研修会の実施
- 3 スポーツ交流に関する事業
 - ア 矢吹町との体育交流の実施（ゲートボール、山岳）
 - イ 加盟団体相互の新春懇親会の実施
 - ウ 親睦ボウリング大会の実施
- 4 指導者養成及び研修に関する事業
 - ア 三鷹市スポーツ指導員要請講習会、研修会の実施
- エ 体育大会（福生市主管）選手派遣
- エ 体育指導員協議会との交流会の実施

創立五十周年記念事業終る

ご協力ありがとうございました

体育協会 会長 清水 紘子
五十周年記念事業実行委員長

山口 善弘

創立五十周年事業の一つとして、平成十九年五月二十六日（土）午前十一時から市内

の三鷹産業プラザで記念式典を開催いたしました。ここに式典、祝賀会を盛り上げていただいたご臨席の一人お一人に深く感謝し厚く御礼申し上げます。合わせて三鷹市教

育委員会からは、記念式典の運営に対し、職員のご助力と記念誌作成費の助成金交付を

いただき、心より感謝いたしております。更に、記念式典開催にあたり四十件に及ぶ協賛団体、個人によるご芳志を頂戴し、かたじけない思いで一杯です。

この節目を新たな第一歩として、体育協会会員一同相互にご協力をいただきながらスポーツの振興に邁進する所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

創立50周年記念事業の経費

収入の部		支出の部	
積立金	5,046,594	事業費	3,116,541
行政補助金	500,000	記念式典費用	2,396,177
祝い金	411,000	その他	103,244
協賛金	260,000		
会費	536,000		
合計	6,753,594	合計	5,615,962
		差額	1,137,632



体育協会の法人化に向けて調査

現在の体育協会は、法人格を持つ団体ではありません。強いて言えば市の外郭団体です。独立した団体となるためには一定の手続きを経てその資格を得る必要があります。法人化が三鷹市に適合するものかを含めて調査しております。

都下のいくつかの体育協会が既にその手続きを経て活動しております。

羽村市体育協会を九月十四日に、調布市体育協会を十一月二十八日に訪問しました。

訪問者は、会長、副会長三人、理事長、副理事長です。

調査の対象はつぎのような基本的事項で調査しております。

- 1 設立までの流れ
- 2 法人化のメリット
- 3 設立後最初にやるべきこと
- 4 専門家（税理士、会計士等）サポート
- 5 運営の財源
- 6 事務局体制

多摩島しよ地区中心に開催

要望書を市長へ提出

総合スポーツセンター建設促進について、企画部会で要望書原案を検討作成し、常任理事会、理事会の決定を経て次の要望書を提出しました。これに対して回答書が届きました。

19 三協協発第 9 号
平成 19 年 7 月 20 日

三鷹市長 清原 慶子様

三鷹市体育協会

会長 清水 紘子

総合スポーツセンター建設促進について(要望)

常日頃から当体育協会に対し、ご支援ご指導を賜りこのから感謝申し上げます。

さて、当協会は、昭和 32(1957)年 7 月に創立し平成 19(2007)年で 50 周年を迎えることができ、今年お蔭様で記念式典も終了しました。今や加盟団体も 34 団体、会員約 7000 名を擁するスポーツ団体となっております。申し上げるまでもなく、当

協会の目的は、体育・スポーツの振興、市民の体位向上、

スポーツ精神の涵養と市民相互の融和、社会文化の発展に寄与することを掲げております。創設以来この目的に沿って各連盟が熱心な活動を続けております。

少子、高齢化社会といわれている現在、三鷹市でもこれの対応として、実施計画の中で大いに取り入れられておられることは大変うれしく思っております。中でも高齢社会の中で介護と介護予防は避けて通れないと考えておりますが、当協会は介護予防には少なからず貢献しているものと自負しているところでです。

しかしながら当市のスポーツ施設については、利用希望者が多い割には施設が極めて少なく、利用を困難にしているとの切実な意見が多く寄せられています。井口特設グラウンドのスポーツ施設の建設は、平成 20 年から 22 年となっていましたので大いに希望を持ち期待しております。しかし、未だに着工に至ってお

りません。

総合スポーツセンター建設については、実施計画の中で平成 19 年度(中期)が見直し検討の最終年度となっておりますが、後期の 3 年間の中で、現在計画されている井口特設グラウンドでオープンができるように積極的な建設促進をされることを改めて要望いたします。

つきましては、次の事項について 8 月 31 日までにご回答書をいただければ幸いです。

記

1 現在の建設計画の進行状況及び今後の建設計画について市長のご見解をいただきたい。

19 三総相第 271 号

平成 19 年 8 月 6 日

三鷹市体育協会

会長 清水 紘子様

三鷹市長 清原 慶子

総合スポーツセンター建設促進についての要望(回答)

平成 19 年 7 月 20 日に提出されましたこのことについて、左記のとおり回答いたします。

記

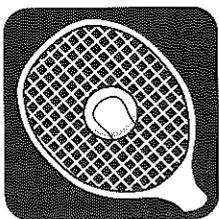
1 回答

日頃より三鷹市の教育行政にご協力をいただきありがとうございます。

総合スポーツセンター(仮称)建設については、第 3 次基本計画(改定)において、健康・長寿社会の実現を目指す施設の性格を明確にし、民間を含めた医療・保健機関との連携を図りながら、スポーツを中心とした総合的な健康づくり推進の拠点として建設に取り組みむこととしています。同計画では、平成 19 年度までは、計画の「見直し・検討」

となっており、これまでもスポーツ振興課において PFI の導入に係る調査などを行っております。

今後は、現在検討を進めている公共施設の計画的な維持・保全や整備・再配備(ファシリテイ・マネジメント)との整合を図りながら、第 3 次基本計画の第 2 次改訂の中で、総合スポーツセンター(仮称)の建設場所や施設規模、整備手法や整備時期などの検討を進めてまいります。以上、回答いたします。



スポーツ安全保険

1000万人のガンバリサポート!!

全日本スポーツ安全協会 東京都支部

(東京都体育協会内)

加盟団体代表者名

平成19年12月現在

加盟団体名	役職氏名	代表者名
野球連盟	会長 吉野 利明	少少林寺拳法連盟
	理事長 山中 昭男	
卓球連盟	会長 吉田 武	テニス協会
	理事長 新関 順子	
バレーボール連盟	会長 藤原 恒雄	空手道連盟
	理事長 田上 隆	
釣魚連盟	会長 石崎 壽	ソフトボール連盟
	理事長 小澤 寛恭	
ソフトテニス連盟	会長 成山 正博	ボウリング連盟
	理事長 宮越 進	
陸上競技協会	会長 藤橋 多一郎	なぎなた連盟
	理事長 柿崎 正	
柔道連盟	会長 中島 春雄	アーチェリー協会
	理事長 池内 雅胤	
山岳連合会	会長 高橋 功	合気道連盟
	理事長 鶴田 昌昭	
弓道連盟	会長 八重樫 春美	ラグビーフットボール協会
	理事長 山崎 洋道	
剣道連盟	会長 吉野 惣一郎	ダンススポーツ連盟
	理事長 野上 篤	
バドミントン協会	会長 吉田 繁	ゲートボール協会
	理事長 小野 伸夫	
水泳連盟	会長 神 忠久	武術太極拳連盟
	理事長 深谷 壽邦	
スキー連盟	会長 竹川 文文	トライアスロン連合
	理事長 小林 雅之	
バスケットボール連盟	会長 堀 堅次	グラウンドゴルフ連盟
	理事長 南 正孝	
民謡連盟	会長 三上 信子	ゴルフ連盟
	理事長 佐藤 輝子	
クレール射撃協会	会長 高橋 育夫	インディアカ連盟
	理事長 岩崎 栄二	
スケート連盟	会長 高麗 伊勢松	スポーツ少年団本部
	理事長 岸田 幸太郎	
サッカー協会	会長 大関 友司	
	理事長 西村 敏行	

平成19～20年度 三鷹市体育協会役員・理事

役職	担当	所属団体名	氏名
会長	社教審委	なぎなた連盟	清水 紋子
副会長	指導・会計	アーチェリー協会	渡辺 融
副会長	総務・広報	スキー連盟	山口 善弘
副会長	企画・少年	卓球連盟	吉田 武
監査役		バドミントン協会	五味 宏
監査役		柔道連盟	橋本 見一
理事長	総括	サッカー協会	大関 友司
副理事長	総括補佐	バドミントン協会	吉田 繁
常任理事	総務部・長	ソフトボール連盟	松野 國夫
常任理事	総務部・副	野球連盟	片桐 澄重
常任理事	指導部・長	アーチェリー協会	蕭 隆輝
常任理事	指導部・副	民謡連盟	三上 信子
常任理事	企画部・長	ボウリング連盟	和田 純男
常任理事	企画部・副	バレーボール連盟	西原 幸太郎
常任理事	広報部・長	釣魚連盟	小澤 寛恭
常任理事	広報部・副	武術太極拳連盟	谷川 大正
常任理事	会計部・長	ソフトボール協会	石川 善正
常任理事	会計部・副	合気道連盟	丸山 明良
理事	総務部	剣道連盟	中村 義則
理事	総務部	山岳連合会	三谷川 剛豊
理事	総務部	サッカー協会	石渡 吾一
理事	総務部	空手道連盟	野村 多根
理事	総務部	なぎなた連盟	
理事	総務部	テニス協会	
理事	企画部	ラグビーフットボール協会	小西 貞夫
理事	企画部	卓球連盟	石井 栄子
理事	企画部	陸上競技協会	柿崎 正
理事	企画部	弓道連盟	鮎沢 千彦
理事	企画部	スケート連盟	北山 長谷川
理事	企画部	グラウンドゴルフ連盟	長谷川 治
理事	指導部	柔道連盟	伯母 正治
理事	指導部	スキー連盟	小林 雅之
理事	指導部	少林寺拳法連盟	小東 直樹
理事	指導部	ゴルフ連盟	千羽 亮二
理事	指導部	トライアスロン連合	高橋 正典
理事	指導部	ダンススポーツ連盟	勝田 美津子
理事	広報部	バスケットボール連盟	森 克美
理事	広報部	ソフトテニス連盟	鈴木 誠裕
理事	広報部	水泳連盟	大道 裕
理事	広報部	クレール射撃協会	岩崎 栄二
理事	広報部	インディアカ連盟	荒木 登志雄
理事	広報部	スポーツ少年団	池田 信吾
事務局長		体育協会事務局	本間 進
嘱託職員		体育協会事務局	南 直子

総務部8名 企画部8名 指導部8名

歩行力測定会

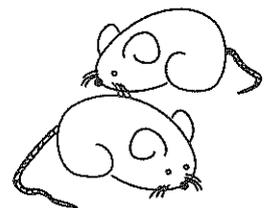
毎年春と秋の年二回歩行力測定会を実施しております。春は五月の最後の日曜日、秋は一〇月の最後の日曜日です。雨の場合はそれぞれ翌週の日曜日。場所は井の頭公園の池のまわりです。

今年の秋は十月二十八日(日) am 九:三〇 pm 三:〇〇に行いました。七十二回となりました。今回の参加者は、一〇六名、二歳の子供から八十四歳の方までの参加でした。

歩くことは、気分転換、血行促進につながりストレス解消になると言われております。是非皆さんのご参加をお待ちしております。



2008



編集後記

この体協だよりは、今回で復刊第七号を迎えました。

今年、体育協会の五十周年記念事業があり、広報部会の集まりも容易ではありませんでした。年一〜二回の発行を計画しておりますが、今年度は、やっと一回発行となりました。

この体協だより発行にあたり最も大切なことは、広報部会員のご協力と熱意であり、更に会員の皆さんからの原稿のご提供であります。これからもご指導ご協力を頼っていかねばその任務を果たすことができませんのでどうぞよろしくお願いいたします。

広報部長 小沢寛恭